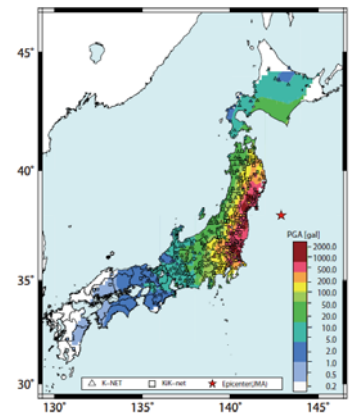


東日本大震災 ー現場からの報告ー

筑波大学大学院システム情報工学研究科 構造エネルギー工学専攻

日時：2011年5月7日(土) 13:00-14:00 会場：3F419



□ 発生した地震動と建物被害

境有紀

マグニチュード 9.0, 最大震度 7 という巨大地震によって発生した地震の揺れ(地震動)がどういふものであったか, それによって生じた被害がどのくらいのものであったかを, 主として 1995 年兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)と比較して, 解説します.

□ 茨城県内の建物被害の初動調査結果

金久保利之

茨城県内においても, 全壊半壊 6,700 棟以上, 一部破損 97,000 棟以上(2011年4月26日茨城県調べ)の建物被害があります. 新旧耐震基準による建物, 耐震補強が未施工の建物に大きな被害の差が見られます. また, 建物倒壊などの深刻な被害とともに, 今回の震災では非構造材の損傷も数多く見られました. 地震動, 津波, 液状化による建物被害の初動調査結果を報告します.

□ 旧耐震基準 RC 造建物の被害

八十島章

茨城県内の役所や学校では甚大な損傷を受け, 使用禁止や取り壊しを余儀なくされた建物が見られます. 1981 年以前の旧耐震基準で建設された鉄筋コンクリート(RC)造建物において, 耐震補強を実施していなかった公共建物の地震動被害について報告します.



□ 液状化による利根川堤防の被災

京藤敏達

東北地方太平洋沖地震により東日本の広域に亘り地盤が長時間の振動を受けたため, 特に関東地方では茨城県, 千葉県内の河川の堤防全体で大きな被害が発生しました. 国土交通省によれば, 関東地方では出水前の緊急・応急対策が必要な箇所は, 目視により, 規模の大きい箇所が約 250 箇所, 確認されています. これら被害の状況を紹介します.

□ 茨城・福島沿岸の津波による被災

武若聡

津波の来襲後, 日本の 200 名余りの研究者が沿岸各地で浸水, 遡上の実態を調べ, 数千地点の情報を集めました. この一環として, 茨城県, 福島県の浸水調査に行き, 被災の状況を調べました. この地域の津波の特徴, 海岸堤防が浸水を防ぐのに果たした役割などについて報告します.

□ 津波による構造物の被害

庄司学

津波の波力によって家屋やライフラインがどのようなメカニズムで, また, 何故, 壊れるのか? 東日本大震災の津波による宮城県, 岩手県の被災状況を踏まえ, わかりやすく説明します.

